



JA役職員とJA青年部 語る会で地域農業について協議

JA本所で12月7日、JA役職員とJA青年部との語る会が行われました。語る会を開催するのは今回が初めてで、JA役職員11人と青年部8人が出席。地域農業の現状や課題を共有し課題を解決することで、地域農業の振興や青年部活動の活性化につなげます。

課題の共有では、サツマイモ基腐病対策、担い手不足や労働力確保など10項目について協議しました。

鹿児島県農協青壮年組織協議会と連携し、県地域振興局との語る会も予定しています。



JA県大会「JAアグリ博」

鹿児島県内のJAグループが集まる、JA県大会が11月26日に鹿児島市で開かれました。県内の役職員・組合員などが集まり、3年に1度開かれる大会で、およそ900人が参加しました。

「農業者の所得増大」「農業生産の拡大」「地域の活性化」を基本目標とし、持続可能な農業と暮らしを目指す、今後3年の活動計画を決議しました。

また、翌日には関連イベントのJAアグリ博が開催され、JA種子屋久のブースでは、冷凍焼き芋・冷凍落花生を販売し、多くの来場者でにぎわいました。



鹿児島県家の光大会

JA女性部は12月7日、鹿児島県JA会館で開催された鹿児島県家の光大会に出席しました。

JA女性部は、部員の家の光購読率50%以上を昨年度より維持し、高普及率実績表彰の「家の光」で組織づくり賞を受賞しました。

また記事活用体験発表も行われ、県内6地区の代表者が発表しました。JA種子屋久女性部からは永浜三津子さんが発表し、優秀賞を受賞しました。



農産物や加工品をアピール

JA女性部中種子支部は12月12日、中種子町役場特設会場で行われた「なかつたねあぐりマルシェ」に参加し、部員が栽培した野菜や加工品を販売・アピールしました。

イベントに来た来場者は「地元の農家が作る野菜や漬物が安くて美味しい」と採れたての野菜や調味料などの加工品を手に取り興味を示していました。

イベントは正午まで行われ、多くの来場者でにぎわいました。

